

京都華頂大学 教職課程

履修カルテ

() 年度入学

学籍番号	学科	専攻
氏名		
1 回生ゼミ教員名		確認印
2 回生ゼミ教員名		確認印
3 回生ゼミ教員名		確認印
4 回生ゼミ教員名		確認印

教職課程指導
センター
最終確認印

--

授業科目		単位	修得年度	教員名	評価	参加姿勢・修得状況について
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	くらしと法律（日本国憲法）	2				
	健康スポーツ科学Ⅰ	1				
	健康スポーツ科学Ⅱ	1				
	英語コミュニケーションⅠ	1				
	英語コミュニケーションⅡ	1				
	情報処理	2				
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎と制度（中高・栄養）	2				
	道徳教育論（中・栄養）	2				
	教職論（幼・小・中高・栄養）	2				
	教育心理学（中高・栄養）	2				
	特別支援教育（中高・栄養）	2				
	教育課程総論（中高・栄養）	2				
	総合的な学習の時間（中高・栄養）	2				
	特別活動（中高・栄養）	2				
	教育の方法と技術（ICT活用含む）（幼・小・中高・栄養）	2				
	生徒・進路指導論（中高・栄養）	2				
	教育相談（中高・栄養）	2				
	教育実習事前・事後指導（中高）	1				
	教育実習Ⅰ（中高）	2				
	教育実習Ⅱ（中）	2				
	教職実践演習（中高）	2				

教科に関する専門的事項	国語学Ⅰ	2				
	日本語文法	2				
	日本語史	2				
	日本語表現法	2				
	国文学	2				
	日本文学概論Ⅰ	2				
	日本文学概論Ⅱ	2				
	日本文学史	2				
	古典文学講読	2				
	京都と文学（古典）	2				
	京都と文学（近現代）	2				
	漢文学Ⅰ	2				
	漢文学Ⅱ	2				
	書道Ⅰ	2				
	書道Ⅱ	2				
各教科の指導法	中等教科教育法Ⅰ（国語）	2				
	中等教科教育法Ⅱ（国語）	2				
	中等教科教育法Ⅲ（国語）	2				
	中等教科教育法Ⅳ（国語）	2				

●教職の資質を伸ばすと考えるボランティアやアルバイトなど課外活動の状況

●1回生ゼミ教員のコメント（教職希望者の1年間の成長を記述してください。）

● 2回生ゼミ教員のコメント（教職希望者の1年間の成長を記述してください。）

● 3回生ゼミ教員のコメント（教職希望者の1年間の成長を記述してください。）

● 4回生ゼミ教員のコメント（教職希望者の1年間の成長を記述してください。）

教職履修カルテ 自己評価シート（中学・高校）

※ 自己評価欄の該当する番号に○を付ける。

4： とてもよくできた 3： ある程度できた 2： あまりできなかった 1： できなかった

項目	必要な資質能力の指標	自己評価			
		1年次	2年次	3年次	4年次
子どもへの愛情 教職に対する使命感や責任感、	教師としての使命感や責任感を自覚して、子どもに向き合おうとしている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	学校や教師の役割と職務内容に関する基礎的知識を有し、相応の言動をとろうとしている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	子どもとともに生活することに充実感を持ち、子どもに共感する姿勢を持っている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
学校教育に関する基本的な知識、個別および集団における生徒理解	教育の理念や思想・歴史・制度など教育の基礎的事項について知識を有している。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	現代の学校教育の諸課題を把握し、その解決に努力する姿勢を有している。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	思春期の特性や校種間連携の基礎的知識を有し、それを教育に活かそうとしている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	子ども一人一人の主体性を尊重し、子どもの個性や能力を引き出す努力をしている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	学級経営の基礎的知識を有し、担任として適切な行動をとろうとしている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	集団やクラスの活動の意義を理解し、子どもの協調性や規範意識などを育てようとしている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	いわゆる問題行動のある子どもや外国籍の子どもなどの背景を理解し、対応しようとしている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

教科指導・生徒指導の基本的知識と技能、応用的な実践的指導力	学習内容の系統性や学年間のつながりを理解している。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	学習指導要領総則を理解している。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	教科内容を指導できる専門的知識を有している。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	子どもの実態を踏まえた単現計画を立て、指導案を作成できる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	教科書にある題材や単元などに応じた教材教具を使おうとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	板書や発問、指示など授業での基本的な指導技術が身についている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	子ども個別の学習内容の習熟度に応じた指導ができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	子どもの多様な思考を活かしながら、協同的な学習を組織することができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	子どもの学習理解の定着のための工夫をしようとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	子どもの興味関心を広げ、キャリア形成につながる指導をしようとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	家庭と協力して進路指導や生徒指導の充実に努めようとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
ICT 高度な専門的知識・活用力	子どもの学習に対する主な評価方法を理解し、子どもを多角的に評価しようとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	基礎的な ICT 能力があり、授業やその他の校務に積極的に活用しようとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

ての意識 「チーム学校」とし	教職員間の積極的な連携、(管理職を含む)先輩教員への報告・連絡・相談を進んでしようとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	保護者や地域、関連機関と連携・協力して包括的な教育を実施する重要性を理解している。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
基礎力と豊かな人間性 (コミュニケーション能力を含む) 社会人	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、自己の考えに活かしていくことができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	相手の理解が得られるように工夫しながら、自己の思いや考えを伝えることができる。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	挨拶や言葉遣いなど TPO に応じた社会人としての基本的な振る舞いが身に付いている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	生命の尊さを理解し、相手を思いやる気持ち、人権を尊重する気持ちを有している。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
質能力 く、教師としての資 変化の時代を生き抜	時代の変化に対応し(国際社会やジェンダーなど)異なる文化や価値に理解を示そうとする。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	常に自らの学びを省察し、自己の課題を認識しつつ学び続ける姿勢を持っている。	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4